

第1号様式

(第1面)

事業活動地球温暖化対策計画書

(あて先) 川崎市長

郵便番号 141-8613  
 住 所 東京都品川区大崎1-11-2  
 氏 名 株式会社九九プラス  
 代表取締役 安平 尚史 印

(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)

川崎市地球温暖化対策の推進に関する条例第9条第1項(同条第4項において読み替えて準用する場合を含む。)の規定により、次のとおり提出します。

事業者の氏名 又は名称	株式会社九九プラス		
主たる事務所又は 事業所の所在地	神奈川県川崎市幸区古川町161		
該当する事業者 の要件	<input type="checkbox"/> 規則第4条第1号該当事業者		
	<input checked="" type="checkbox"/> 規則第4条第2号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 規則第4条第3号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 規則第4条第4号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 上記以外の事業者(任意提出事業者)		
主たる事業 の業種	大分類	I	卸売業、小売業
	中分類	56	各種商品小売業
主たる事業 の内容	コンビニエンス・フランチャイズ事業		
事業者の規模	<input checked="" type="checkbox"/> 原油換算エネルギー使用量	2,407	k l
	<input type="checkbox"/> 自動車の台数		台
	<input type="checkbox"/> エネルギー起源の二酸化炭素 以外の温室効果ガスの排出の量		t-CO <sub>2</sub>
連絡先	担当部署	担当部署名	総務法務部
		所在地	東京都品川区大崎1-11-2
		電話番号	03-4334-6799
		FAX番号	03-4334-6367
		メールアドレス	

※受付欄		※特記事項	※事業者番号	

(第2面)

計 画 期 間	平成25年度 ~ 平成27年度
温室効果ガスの排出の量の削減を図るための基本方針	別添 指針様式第1号のとおり
温室効果ガスの排出の量の削減に向けた組織体制	別添 指針様式第1号のとおり
温室効果ガスの排出の量の削減目標及び温室効果ガスの排出の量	別添 指針様式第1号のとおり
温室効果ガスの排出の量の削減目標を達成するための措置の内容に係る事項	別添 指針様式第1号のとおり
他の者の温室効果ガスの排出の抑制等に寄与する措置に係る事項	別添 指針様式第1号のとおり
その他地球温暖化対策の推進への貢献に係る事項	別添 指針様式第1号のとおり
備 考	<a href="http://www.99plus.co.jp/company/contribution/saving/">http://www.99plus.co.jp/company/contribution/saving/</a>

- 備考 1 欄内にすべてを記載できない場合は、別紙により提出してください。  
2 □のある欄は、該当する□内にレ印を記載してください。  
3 計画書には、事業活動地球温暖化対策指針に定める資料を添付してください。  
4 ※印の欄は記入しないでください。  
5 氏名（法人にあっては、その代表者）を記載し、押印することに代えて、本人（法人にあっては、その代表者）が署名することができます。

## 事業活動地球温暖化対策計画

### 1 温室効果ガスの排出の量の削減を図るための基本方針

#### 1 事業者全体基本方針

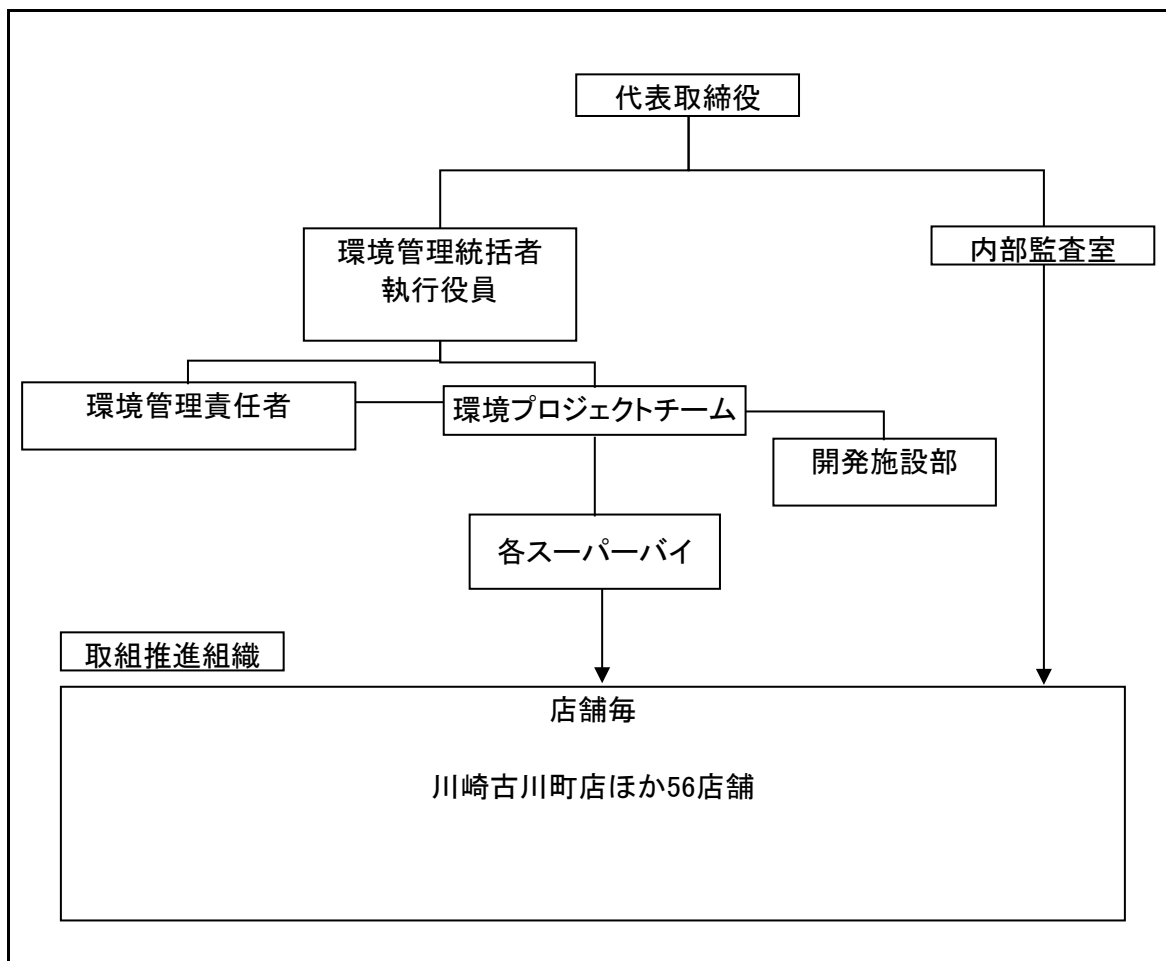
次の3つの方針より、積極的な地球温暖化対策を進めている。

- (1) 地球温暖化対策に関する取組を組織的に行い、継続的に対策を推進する。
- (2) 目標を明確に定め、温室効果ガス排出量の削減に取り組む。
- (3) 事業活動に係る設備について温室効果ガス排出量が少ないものを選択するとともに、温室効果ガス発生抑制に努める。

#### 2 市内事業所の基本方針

- (1) 事業者全体の基本方針に基づいて活動を行う。
- (2) 計画期間（3年以内）に事業活動地球温暖化対策指針にある基本対策メニューを継続して実施する。

### 2 温室効果ガスの排出の量の削減に向けた組織体制



3 温室効果ガスの排出の量の削減目標等 (第 1 号、第 2 号、第 4 号該当者等)

(1) 温室効果ガスの排出の量の削減目標及び温室効果ガスの排出の量

ア 基準排出量と目標排出量

基準年度	平成 2 4 年度	目標年度	平成 2 7 年度
基準排出量	(実) 4,341 (調) 4,332	t-CO <sub>2</sub>	(実) 4,211 t-CO <sub>2</sub>
削減率	(実) 3.0	%	(実) 130 t-CO <sub>2</sub>

イ 基準排出量原単位等と目標排出量原単位等

原単位の活動量	売場面積	単 位	t-CO <sub>2</sub> /m <sup>2</sup>
基準年度の値	0.5863	目標年度の値	0.5687
削減率	3.0	%	
延床面積、生産数量 以外の原単位を使用 した場合の理由			

ウ 目標設定に関する考え方

温室効果ガスの排出量原単位の削減を図るため、排出量原単位の値を年平均で 1%削減することとした目標を設定しました。  
 目標排出量は、総店舗数（売場面積）は横ばいを前提とした数値で目標排出量原単位から設定しました。

(2) 温室効果ガスの排出の量の削減目標 (全社目標)

--

5 温室効果ガスの排出の量の削減目標を達成するための措置の内容に係る事項

(1) 温室効果ガスの排出の量の削減のための措置の内容

<p>事業所等に係る温室効果ガスの排出の量の削減を達成するための具体的措置</p> <p>(第 1 号、第 2 号、第 4 号該当者等)</p>	<p>○推進体制の整備                  本社内の推進体制を整備し店舗との情報交換を実施する。</p> <p>○主要設備等の保安全管理                  主要設備について作成している管理標準の作成と定期的見直し。                  設備単位によるエネルギー管理の徹底                  定期的な保守、点検の実施                  点検、検査措置の記録、保存</p> <p>○店舗の空調管理                  店内は暖房19℃、冷房27℃に設定し事務所の空調機は昼間運転しない。                  空調フィルターや霜取りなど月1回清掃の徹底。                  外気条件の変動等に応じた稼働台数の調整による総合的なエネルギー効率の向上</p> <p>○店舗の照明設備                  店頭軒下照明は夜間のみ点灯し、冷ケースの棚照明は消灯する。                  適正な照度レベルの実施                  照明の点灯を施す区画の限定                  看板の自動点灯・消灯スイッチの導入                  LED照明の導入</p> <p>○電気機器                  使用しない時は電源を抜く。                  店内換気扇を停止し必要な時だけ換気する。                  冷蔵ケースの商品を過剰陳列しない。                  改装時の省エネ機器への入れ替え</p>
<p>自動車に係る温室効果ガスの排出の量の削減を達成するための具体的措置</p> <p>(第 3 号該当者等)</p>	

## (2) 再生可能エネルギー等の利用計画及び前年度末における利用実績

## ア 再生可能エネルギー等の利用に係る考え方

店舗の多くはビルインで賃借している。現状では再生可能エネルギー等を使用できない状況にあるものの、将来的には設置可能な店舗施設には太陽光発電を取り入れたい。

## イ 再生可能エネルギー等の利用計画及び利用実績

設備等の種類	概要(規模、導入場所、性能等)	導入年度	備考

## ウ 再生可能エネルギー等の価値の保有計画及び保有実績

種類	概要(規模、場所等)	保有年度	備考

## (3) 基準年度の末日までに完了した主な対策内容

- エネルギー管理体制の整備  
本社、店舗におけるエネルギー管理組織の構築と管理手法の構築を行いました。
- ガイドの作成と周知  
店舗における具体的なエネルギー節約方法と、店内温度管理ルールの明文化を行いました。
- LED照明の導入  
全店舗にLED照明設備を導入し、これを今後の店舗照明の標準仕様と決めました。
- 看板の自動点灯・消灯スイッチ導入  
外部明度に応じて自動的に点消灯するスイッチを導入し、不要な電気を使わないシステムを導入しました。

6 他の者の温室効果ガスの排出の抑制等に寄与する措置に係る事項

なし

7 その他地球温暖化対策の推進への貢献に係る事項

- ・ 廃棄物の減量化・分別化の推進
- ・ 商品の簡易パッケージ採用による廃棄物の減量化
- ・ 食品廃棄物の再生利用（メタン化、肥料化）
- ・ 食品廃棄物を出さないよう、期限手前商品の値引き販売実施

様式第 1 号

(第 7 面)

8 前年度の温室効果ガスの排出の量等の実績

(1) 事業者単位

ア 第 1 号、第 2 号、第 4 号該当者等

(実)	4,341	t-CO <sub>2</sub>
(調)	4,332	

イ 第 3 号該当者等

(実)		t-CO <sub>2</sub>
(調)		

(2) 事業所等単位 (第 1 号、第 2 号該当者等)

ア 年間の原油換算エネルギー使用量が 1,500k<sub>l</sub> 以上の事業所の一覧

事業所の名称	事業所の所在地	日本標準産業分類 細分類番号	事業所に係る 事業の名称	温室効果ガス の排出の量
				t-CO <sub>2</sub>
				t-CO <sub>2</sub>
				t-CO <sub>2</sub>
				t-CO <sub>2</sub>

イ 年間の原油換算エネルギー使用量が原油換算で 500k<sub>l</sub> 以上 1,500k<sub>l</sub> 未満の事業所の一覧

事業所の名称	事業所の所在地	日本標準産業分類 細分類番号	事業所に係る 事業の名称	温室効果ガス の排出の量
				t-CO <sub>2</sub>
				t-CO <sub>2</sub>
				t-CO <sub>2</sub>
				t-CO <sub>2</sub>

ウ 年間の原油換算エネルギー使用量が原油換算で 500k<sub>l</sub> 未満の事業所の一覧

エネルギー使用量の規模	事業所数
400～500k <sub>l</sub> 未満	
300～400k <sub>l</sub> 未満	
200～300k <sub>l</sub> 未満	
100～200k <sub>l</sub> 未満	
100k <sub>l</sub> 未満	56

(3) 事業所等単位 (第 4 号該当者等)

ア 物質ごとの年間の温室効果ガスの排出の量 (二酸化炭素換算) が 3,000 t 以上 (二酸化炭素の場合はエネルギー使用に伴い排出したものを除く。) の事業所の一覧

事業所の名称	事業所の所在地	日本標準産業分類 細分類番号	事業所に係る 事業の名称	温室効果ガス の排出の量
				t-CO <sub>2</sub>
				t-CO <sub>2</sub>
				t-CO <sub>2</sub>
				t-CO <sub>2</sub>

イ 物質ごとの年間の温室効果ガスの排出の量 (二酸化炭素換算) が 3,000 t 未満 (二酸化炭素の場合はエネルギー使用に伴い排出したものを除く。) の事業所の数

事業所数	
------	--